



AES東京コンベンション2003

Audio Engineering in the New Century
“新世紀のオーディオエンジニアリング”

報 告 書

AES東京コンベンション2003(AES 11th Regional Convention, Tokyo)を終えて

AES日本支部 支部長 鈴木弘明
AES東京コンベンション2003実行委員会
委員長 濱崎公男

AES東京コンベンション2003の開催にあたり、厳しい経済状況や不透明な社会状況にもかかわらず多大なご支援とご協力をいただき、無事終了することができました。皆様のご理解とご厚情に深く感謝申し上げます。

今回のコンベンションは、従来の機器展示と技術発表という2本柱による構成から、機器展示、技術発表、ワークショップ、プロダクトセミナーという4本柱の構成に変更し、オーディオ技術に関する最新情報を見聞きできる場を大幅に増やしました。おかげさまで、この企画にご興味をいただき、天候不順にも関わらず、3日間を通して13,536名のご来場をいただくことができました。特に前回よりも若い方々のご来場が増えたことが、プロオーディオ業界にとって明るい材料だと、主催者としてたいへん嬉しく存じます。

今回の開催では、内容の拡充だけでなく、開催場所を従来の池袋サンシャインシティから科学技術館に変更しました。開催場所の変更は、多様な技術セッションを同時に開催できること、できる限り高品質な音響再生環境を構築できること、ご出展企業の便宜を図れること、などを検討した結果です。機器展示については、特に展示会場が変更となったことにより、ご出展各社には、設営から小間造作、撤収までたいへんご苦勞をおかけしたと存じます。ご出展各社におかれましては、今回のコンベンションの主旨をご理解いただき、多大なご協力を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。

基調講演では、富田勲様にマルチチャンネル音響の魅力とご経験をたいへん興味深く講演していただきました。そして技術発表では、広範なオーディオ技術分野について、44件のご発表をいただきました。お忙しい中ご協力を賜りました富田勲様と各セッションの座長の皆様に深く感謝申し上げます。

19セッションのワークショップと、14セッションのプロダクトセミナーでは、多様なオーディオ技術に関する最前線情報をご提供いただくことができました。ご協力いただいた企業の皆様、ならびに、司会およびプレゼンターとしてご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

テクニカルツアーは、第二国立劇場様のご厚意で、同劇場のバックステージを含めた見学を実施することができました。また、特別企画として実施したサラウンドサウンドデモには、多くの貴重なデモ素材をご提供いただきました。皆様のご協力を深く感謝申し上げます。

今回のコンベンションでは、AESジャパンアワードを3人の方に、そして、今回新設いたしましたAESサウンドアワードを4組の方々に授与させていただきました。AES本部からは、イミンク会長、マルゴリス前会長にご多忙の中ご来日いただき、オープニングセッション、バンケット、クロージングセッションでのご挨拶、アワード表彰、記者会見などにご協力いただくとともに、日本のオーディオ業界の現況をつぶさにご覧いただき、日本支部の活動へのご理解を深めていただきました。

ご参加いただいた企業の皆様、そして、ご来場いただいた皆様から寄せられた、今回のコンベンション企画構成についての御賛辞と課題は、2005年の次期開催に向けての検討に反映させてまいります。ぜひとも、引き続き皆様のご協力とご参加を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、ご参加いただいた各企業の皆様、様々な機材をご提供頂いた各企業の皆様、開催に向けて連日連夜の準備作業にご協力いただいた実行委員会の皆様、そして、多くのご支援を賜りました日本のオーディオ業界の皆様にご心より御礼申し上げます。2年後にまた皆様とAES東京コンベンション会場でお会いできることをお待ちしております。

開催概要

- **名 称:** AES東京コンベンション2003 AES 11th Regional Convention, Tokyo
- **メインテーマ:** 新世紀のオーディオエンジニアリング
Audio Engineering in the New Century
- **会 期:** 2003年7月7日(月) 9:00~18:00 (バンケット 18:30~20:30)
8日(火) 9:00~18:00
9日(水) 9:00~17:00
- **会 場:** 科学技術館
東京都千代田区北の丸公園2-1
Tel: 03-3212-8703
- **主 催:** AES日本支部
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-38-2 703号室
Tel: 03-5358-7320 Fax: 03-5358-7328
- **運 営:** AES東京コンベンション2003事務局
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-5-10 久我ビル2F
(株)ステージ・サイド内
Tel: 03-5275-8373 Fax: 03-5275-8272
E-mail: convention@aes-japan.org

● **参加料・入場料:**

	通し券		当日券	ワークショップ券	機器展示券	バンケット参加券
	予約販売	当日販売				
学 生	¥5,000	¥8,000	¥3,000	¥1,500	¥1,000	¥5,000
AES会員	¥7,000	¥10,000	¥5,000	¥2,500		
一 般	¥17,000	¥21,000	¥10,000	¥4,000		
技術発表	PP	○	○(当日のみ)	×	×	×
ワークショップ	WS	○	○(当日のみ)	○(1セッションのみ)	×	×
プロダクトセミナー	PD	○	○(当日のみ)	×	○(当日のみ)	×
機器展示	EX	○	○(当日のみ)	×	○(当日のみ)	×
教育プログラム	ED	○	○(当日のみ)	×	○(当日のみ)	×
バンケット	BQ	×	×	×	×	○

※テクニカルツアーは参加無料です。

※当日会場受付にて、AES会員に申し込みいただくと、会員価格で購入になります。

- **予 稿 集:** B5冊子版 ¥5,000 CD-ROM版 ¥5,000
※セット価格 ¥8,000

来場者一覽

■AES東京コンベンション2003 来場者数

		7/7(月)	7/8(火)	7/9(水)	計
		雨 20.5-24.4℃	雨 18.5-21.3℃	曇 18.8-24.0℃	
PP	技術発表 基調講演含むのべ来場者数	974	1,128	806	2,908
WS	ワークショップ のべ来場者数	243	489	223	955
PD	プロダクトセミナー のべ来場者数	204	642	223	1,069
	小計:PP+WS+PD	1,421	2,259	1,252	4,932
ED	サウンドアワード	-	-	33	33
OS	オープニングセッション	68	-	-	68
CS	クロージングセッション	-	-	53	53
TC	テクニカルツアー	9	-	-	9
BQ	バンケット	87	-	-	87
	小計:ED+OS+CS+TC+BQ	164	-	86	250
EX	機器展示 のべ来場者数	2,395	3,157	2,802	8,354
	計	3,980	5,416	4,140	13,536
					合計

AES東京コンベンション2003セッション別来場者数一覽 - 技術発表/ワークショップ/プロダクトセミナー

7/7(月) 1,421名		7/8(火) 2,259名		7/9(水) 1,252名		総計 4,932名
技術発表 974名		技術発表 1,128名		技術発表 806名		合計 2,908名
基調講演 188		PP3 室内音響1 1 48 2 54 3 57 小計 159		PP8 收音再生1 1 35 2 44 3 39 4 41 5 36 小計 195		
PP1 マルチチャンネル1 1 104 2 106 3 111 4 114 小計 435		PP4 室内音響2 1 49 2 42 3 38 小計 129		PP9 收音再生2 1 41 2 43 3 50 4 62 小計 196		
PP2 マルチチャンネル2 1 92 2 95 3 83 4 81 小計 351		PP5 ハイレゾリューションオーディオ1 1 62 2 78 3 77 4 75 小計 292		PP10 デジタル信号処理 1 38 2 42 3 46 4 57 小計 183		
		PP6 ハイレゾリューションオーディオ2 1 81 2 83 3 96 小計 260		PP11 伝送ネットワーク 1 44 2 52 3 50 4 47 5 39 小計 232		
ワークショップ 243名		ワークショップ 489名		ワークショップ 223名		合計 955名
WS1 次世代光ディスク 87	WS2 デジタルシネマ 42	WS6 HRA制作環境 54	WS7 DVD-AR 36	WS14 デスクトップDAW 41	WS15 人にやさしい放送 48	
WS3 デジタルコンソール 66	WS4 サラウンド制作1 28	WS8 ゲームサラウンド 94	WS9 サラウンド Lexicon 71	WS16 HD24P 48	WS17 サラウンド制作3 23	
WS5 デジタルラジオ 20		WS10 マイクング Shoeps 108	WS11 サラウンド制作2 30	WS18 エンコーディング 24	WS19 デジタル伝送 39	
		WS12 BWF-J 44	WS13 マルチチャンネル討議 52			
プロダクトセミナー 204名		プロダクトセミナー 642名		プロダクトセミナー 223名		合計 1,069名
PD1 東陽テクニカ 90*	PD2 Eupho./Stein./TC 114**	PD3 Apple 59	PD4 Digidesign 84	PD11 バストラルシンフォ 22	PD12 OTARITEC 32	
		PD5 TAC 56	PD6 YAMAHA 1 65	PD13 Timeload 29	PD14 Eupho./Stein./TC 140**	
		PD7 YAMAHA 2 114	PD8 SONA 1 70			
		PD9 SONA 2 66	PD10 Eupho./Stein./TC 128**			
* のべ人数(3セッション)	** のべ人数(2セッション)					
		** のべ人数(2セッション)				

内 容

《機器展示》

構成： 出展企業22社 42小間(Aタイプ:14社22小間/Bタイプ:8社20小間)
小間規格： 3m(間口)×2m(奥行)×2.5m(高さ)
出展料： Aタイプ:¥250,000 Bタイプ:¥210,000

《技術発表》

構成： 基調講演 1件
技術発表 44件

7月7日(月)

オープニングセッション(開会の挨拶、来賓の挨拶、AES日本支部アワード受賞式ほか)

基調講演 「限りないサラウンドにかける夢」～「惑星」によるサラウンドデモと講演～
富田勲氏(作曲家)

PP1「マルチチャンネル・オーディオ1」 座長:石野和男・・・発表件数 4
PP2「マルチチャンネル・オーディオ2」 座長:小野一穂・・・発表件数 4

7月8日(火)

PP3「室内音響1」 座長:森本雅紀・・・発表件数 3
PP4「室内音響2」 座長:竹内松巳・・・発表件数 3
PP5「ハイレゾリューション・オーディオ1」 座長:小泉宣夫・・・発表件数 4
PP6「ハイレゾリューション・オーディオ2」 座長:蘆原 郁・・・発表件数 3
PP7「心理音響」 座長:西村 明・・・発表件数 4

7月9日(水)

PP8「收音再生1」 座長:岩城正和・・・発表件数 5
PP9「收音再生2」 座長:小谷野進司・・・発表件数 4
PP10「デジタル信号処理」 座長:三好正人・・・発表件数 4
PP11「伝送ネットワーク」 座長:瀬戸川俊明・・・発表件数 5

クロージングセッション

●小谷野進司

《ワークショップ》

7月7日(月)

WS1「次世代光ディスク」

司会：菊田俊雄(音響技術専門学校)

パネラー：前田武志(日立) 山田尚志(東芝)

WS2「デジタルシネマ再生における最新音響設備の実際」

司会：濱崎公男(NHK)

パネラー：浜田純伸(ワンダーステーション) 井口洋(ティ・ジョイ) 佐藤彰洋(ティ・ジョイ)
持丸聡(ポーズ) 栗山譲二(ポーズ)

参加企業：ポーズ

WS3「デジタルコンソール最前線～最新デジタルコンソールの全比較～」

司会：内村和嗣(NHK)

パネラー：クリス・ジェンキンス(SSL) 野口 真一(SSLジャパン) 高橋 茂樹(ヤマハ)
溝渕 匠(オタリテック) 山崎 淳(タムラ製作所) 黒澤 正剛(フェアライトジャパン)
日比野 正幸(松下電器産業) 浮辺 浩二(ユーフォニクスジャパン)

WS4「サラウンド制作の実際(音楽録音編)」

司会：内村和嗣(NHK)

プレゼンター：深田晃(NHK)

WS5「10月開局！デジタルラジオの特長および番組サービスについて」

プレゼンター：近江克郎(デジタルラジオ推進協会) 小高正行(デジタルラジオ推進協会)

参加団体：社団法人デジタルラジオ推進協会

7月8日(火)

WS6「ハイレゾリューションオーディオの制作環境」

司会：深田晃(NHK)

パネラー：前田宗泰(ソニー) 森美祐(松下電器産業、DVDフォーラムWG-4) 藤田厚生(タイムロード)

WS7「DVD-AR(Audio Recording)規格最新情報」

司会：鈴木弘明(ビクター)

パネラー：新保正利(松下電器産業、DVDフォーラムWG-4)

主催：DVDフォーラム オーディオ・ワーキング・グループ WG-4

WS8「ゲームのサラウンドオーディオ」

司会：染谷和孝(ソニーPCL)

パネラー：中山尚幸(ドルビー日本支社) 中山敦子(DTS日本オフィス) テッド・ラパティエ(DTS)

主催：中村英治(Red A.J Sound) 嶺川千春(スクウェア・エニックス)

WS9「サラウンド録音を成功させるには」

プレゼンター：デビッド・グリジナー(レキシコン)

通訳：濱崎 公男(NHK)

司会：境澤 賢治(エレクトリ)

WS10「欧米における最先端のマイクロホン実践テクニック～基礎からサラウンドまで～」

プレゼンター：イヨルグ・ウトケ(ショップス)

通訳：濱崎 公男(NHK)

司会：今井 哲哉(今井商事)

WS11「サラウンド制作の実際(ポスプロ編)」

司会: 内村和嗣(NHK)

プレゼンター: 染谷和孝(ソニーPCL)

WS12「BWF規格の現状と課題」

司会: 中島博和(TBS R&C)

パネラー: 丸谷正利(JPPA) 岡本 達哉(NHK) 三浦 洋(ニッポン放送) 坂本 忠彦(デノン)
谷地 章史(興和) 小出長幸(オタリテック)

WS13「マルチチャンネル音楽製作～よりサラウンド効果のあるソフトを制作するために～」

司会: 山本武夫

パネラー: 森本政之(神戸大学) 小宮山 撰(NHK) 神山純一(作曲・編曲家) 深田晃(NHK)
濱崎公男(NHK) 高田英男(ビクターエンタテインメント)

7月9日(水)

WS14「デスクトッププロダクション・ハンズ・オン・セミナー」

司会: 山本 隆彦(タックシステム)

パネラー: 小林 稔朗(アビット ジャパン) 柳瀬 智史(ディーエスピージャパン)
安川 剛(スタインバーグ・ジャパン)

WS15「人にやさしい次世代音声放送」

司会: 辻本廉(NTS)

パネラー: 中村英嗣(NHK) トーマス・ルンド(TCエレクトロニック) 松本 令明(TCエレクトロニック日本支社)
黒住 幸一(NHK) 星 英明(ヤマキ)

WS16「HD24Pプロダクション」

司会: 染谷和孝(ソニーPCL)

パネラー: 浅田伸(プログレッシブピクチャーズ) 諏佐佳紀(ソニーPCL) 長谷川有里(ソニーPCL)

WS17「サラウンド制作の実際(放送編)」

司会: 内村和嗣(NHK)

プレゼンター: 井上 哲(テレビ朝日映像)

WS18「サラウンド・エンコーディング成功へのアプローチ」

司会: 中原雅考(ソナ)

パネラー: 入交英雄(毎日放送) 中山尚幸(ドルビー日本支社) 中山敦子(DTS日本オフィス)
前垣宏親(ヤマハ) ジェフ レビソン(DTS)

WS19「デジタル伝送の最新動向」

司会: 森山直(松下電器産業)

パネラー: 五味貞博(松下電器産業) 錦織琢(ヤマハ) 高橋茂樹(ヤマハ) 栗林泰孝(ヤマハ)

《プロダクトセミナー》

7月7日(月)

PD1「(1)PC-Audio測定 (2)スピーカーの大信号性能の評価 (3)スピーカーコーンの幾何学ステイフネスについて」

主催: (株)東陽テクニカ 講師: 高月深治(東陽テクニカ) Dr.Wolfgang Klippel(Klippel社)・Peter Larsen (Loudsoft社)

PD2「サウンドミキシングシステムの統合-System5,MAX-AirとNuendoの機能統合加えて、TC System6000の有効性。」

主催: (株)ユーフォニクスジャパン スタインバーグジャパン TCエレトロニック日本支社
講師: 富田勲(作曲家)

7月8日(火)

PD3「Mac OS Xにおけるプロオーディオソリューション」

主催: アップルコンピュータ 講師: 小西達矢(アップルコンピュータ)

PD4「Pro Tools 6.1及びWavesプラグインによるポストプロダクション」

主催: デジデザインジャパン 講師: 大野映彦(サウンドエンジニア)
小林稔朗(デジデザイン)

PD5「DAWのバックアップとネットワークについて」

主催: タックシステム(株) 講師: 山本隆彦(タックシステム)

PD6「ポストプロ向けサラウンドエフェクト開発とモデリング技術」

主催: ヤマハ(株) 講師: 高橋昭夫(ヤマハ) 国本利文(ヤマハ)

PD7「DM2000/DM1000を使ったサラウンドモニター・セットアップ実践講座」

主催: ヤマハ(株) 講師: 中原雅考(ソナ)

PD8「M&K professionalスピーカーとサラウンド・モニタリング環境」

主催: (株)ソナ 講師: 上岡慎一(ソナ)

PD9「THX pm3 によるサラウンド・スタジオ設計とは？」

主催: (株)ソナ 講師: 池田篤郎(ソナ)

PD10「スタジオ間での音源素材受け渡しを容易にするAES31規格の実施用例及びデジタルコンソールとDAWとの機動的インテグレーション」

主催: (株)ユーフォニクスジャパン スタインバーグジャパン TCエレトロニック日本支社
講師: 行方洋一(サウンド・スーパーバイザー)

7月9日(水)

PD11「高解像度マイクロピュア・パネルTVスピーカの市場展開と、業務用モニタースピーカの試聴」

主催: パストラルシンフォニー 講師: 福田三恭司(パストラルシンフォニー)

PD12「GENELECが考えるベースマネージメント」

主催: オタリテック(株) 講師: 溝口匠(オタリテック) 石井久雄(オタリテック)

PD13「リアルタイムノイズリダクションとレストレーションシステム」

主催: (株)タイムロード 講師: ゴードン・レイド(CEDAR)

PD14「Jazz Trioライブ収録後のサラウンドミクスダウンの試み。」

主催: (株)ユーフォニクスジャパン スタインバーグジャパン TCエレトロニック日本支社
講師: 時枝一博(コロムビアミュージックエンタテインメント)

《オープニングセッション》

日 時: 7月7日(月) AM10:00からAM10:30

会 場: 科学技術館内 サイエンスホール

開会の辞: 小谷野進司(AES東京コンベンション2003プログラム委員長)

挨拶: 鈴木弘明(AES日本支部長)

濱崎公男(AES東京コンベンション2003実行委員長)

Kees A. S. Immink(AES会長)

AES JAPAN AWARD 2003受賞者:

尾本 章<九州芸術工科大学> 火山浩一郎<日本放送協会> 丸谷正利<オタリテック>

《テクニカルツアー》

日 時: 7月7日(月) AM11:00から

会 場: 新国立劇場内「新国立劇場の音響設備および舞台設備の見学」

参加費: 無料

《記者会見》

日 時: 7月7日(月) PM15:00から

会 場: 科学技術館内 第二会議室

《バンケット》

日 時: 7月7日(月) PM18:30からPM20:00

会 場: 科学技術館内「ザ・スペース」

参加費: 5,000円

挨拶: 濱崎公男(AES東京コンベンション2003実行委員長)

Garry Margolis(AES前会長)

鈴木弘明(AES日本支部長)

《学生・若手エンジニアのためのサウンドアワード》

日 時: 7月9日(水) AM9:00からAM9:55

会 場: 科学技術館内 1号館

進 行: 菊田俊雄(AES東京コンベンション2003学生・教育プログラム委員長)

亀川徹(AES東京コンベンション2003ワークショップ委員長)

受賞者: 最優秀賞「タコス」 相田隆志、斉藤満(音響技術専門学校)

優秀賞 「羅生門」 栗原 甲(音響技術専門学校)

優秀賞 「静寂の水」 鈴木久晴、田部洋祐(九州芸術工科大学)

特別賞 「Case 218」 長谷川有里(ソニーPCL)

《クロージングセッション》

日 時: 7月9日(水) PM16:10からAM16:20

会 場: 科学技術館内 サイエンスホール

閉会の辞: 濱崎公男(AES東京コンベンション2003実行委員長)

挨拶: 鈴木弘明(AES日本支部長)

Garry Margolis(AES前会長)

機器展示出展企業一覧

《機器展示出展22社》

1	今井商事 株式会社 《IMAI & COMPANY, LTD.》	12	ディーエスピー・ジャパン 株式会社 《DSP JAPAN LTD.》
2	株式会社 スタインバーグ・ジャパン 《STEINBERG JAPAN INC》	13	ボーズ 株式会社 《BOSE KABUSHIKI KAISHA》
3	株式会社 エム・ティ・エス 《MTS CO., LTD.》	14	三研マイクロホン 株式会社 《SANKEN MICROPHONE CO., LTD》
4	株式会社 東陽テクニカ 《TOYO CORP.》	15	ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン 株式会社 《SOLID STATE LOGIC JAPAN K. K.》
5	ソニーマーケティング 株式会社 《SONY MARKETING (JAPAN) INC.》	16	ヤマハ 株式会社 《YAMAHA CORP.》
6	タックシステム 株式会社 《TAC SYSTEM INC.》	17	株式会社 バラッド 《BALLAD CO., LTD》
7	エタニ電機 株式会社 《ETANI ELECTRONICS CO., LTD》	18	日本マランツ 《MARANTZ JAPAN, INC.》
8	株式会社 ソナ 《SONA CORPORATION》	19	ヒビノ 株式会社 《HIBINO CORP.》
9	鹿島、田口製作所 《KAJIMA, Taguchi》	20	株式会社 タイムロード 《TIMELORD, LTD》
10	日本エレクトロ・ハーモニクス 株式会社 《NIHON ELECTRO HARMONIX K. K.》	21	株式会社 フェアライトジャパン 《Fairlight Japan Inc.,》
11	オタリテック 株式会社 《OTARITEC CORP.》	22	D T S 《DTS》



運営スタッフ総覧

実行委員長: 濱崎公男<日本放送協会>
実行副委員長: 鈴木弘明<日本ビクター(株)>
事務局長: 中原雅考<(株)ソナ>

プログラム委員長: 小谷野進司<パイオニア(株)>
プログラム副委員長: 小野一穂<日本放送協会>

プログラム委員

石野和男<(株)バップ>	竹内松己<松下電器産業(株)>
西村明<東京情報大学>	三好正人<日本電信電話(株)>
森本雅記<森本浪花音響計画(有)>	小泉宣夫<東京情報大学>
岩城正和<日本放送協会>	瀬戸川俊明<ソニー(株)>

ワークショップ委員長: 亀川徹<東京芸術大学>
ワークショップ副委員長: 中原雅考<(株)ソナ>

ワークショップ委員

内村和嗣<日本放送協会>	染谷和孝<ソニーPCL(株)>
山本隆彦<タックシステム(株)>	菅野重信<ヤマハ(株)>
森川直<松下電器産業(株)>	

ファシリティー委員長: 千葉精一<キングレコード(株)>
ファシリティー副委員長: 由雄淳一<パイオニア(株)>
展示委員長: 中沖忠彦<パイオニア(株)>
展示副委員長: 池内宏行<スチューダー・ジャパン(株)>
特別イベント委員長: 沢口真生<日本放送協会>
特別イベント副委員長: 加藤茂樹<(株)MACS>
テクニカルツアー委員長: 深田晃<日本放送協会>
バンケット委員長: 朝倉昭<品川無線(株)>
広報・本部連絡委員長: 相馬喜三
広報・本部連絡副委員長: 瀬戸川俊明<ソニー(株)>
運営・会員対応委員長: 阿部美春
財務委員長: 中島博和<(株)TBSラジオ&コミュニケーションズ>
財務副委員長: 千葉精一<キングレコード(株)>
学生・教育プログラム委員長: 菊田俊雄<音響技術専門学校>
学生・教育プログラム副委員長: 堀真滋<日本工学院八王子専門学校>
オフィシャルフォトグラファー: 川岸桂介<AES日本支部>
オフィシャルコンベンションレポーター: 郷勝哉
顧問: 田中邦麿<帝京平成大学>

【機材提供企業】

- オタリテック株式会社 様
- スタインバーグ・ジャパン 様
- 株式会社ソナ 様
- ソニーPCL株式会社 様
- OTCエレクトロニック日本支社 様
- ドルビー日本支社 様
- 日本放送協会 様
- パイオニア株式会社 様
- パナソニックSSマーケティング株式会社 様
- ヒビノ株式会社 様
- プログレッシブピクチャーズ株式会社 様
- 松下電器産業株式会社 様
- ヤマハ株式会社 様
- 株式会社ユーフォニックスジャパン 様

(五十音順)



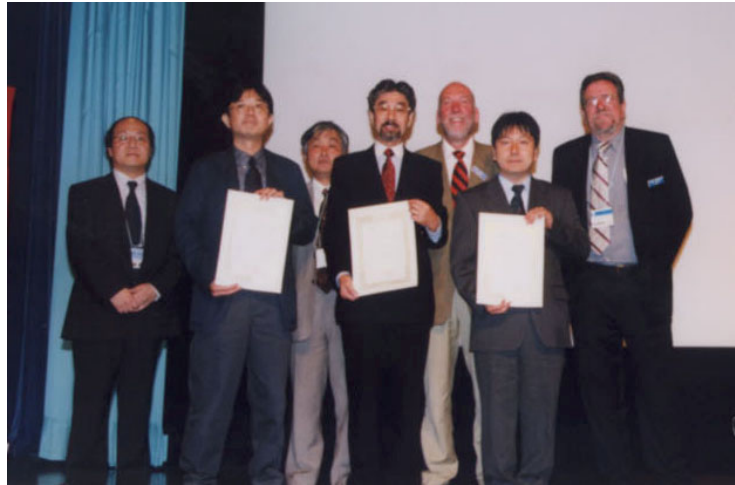
オープニングセッション
挨拶: 濱崎公男
〈コンベンション実行委員長〉



オープニングセッション
挨拶: Kees A. S. Immink
〈AES会長〉



オープニングセッション
挨拶: 鈴木弘明
〈AES日本支部長〉



AES JAPAN AWARD 2003受賞者
尾本 章(前列左) 丸谷正利(前列中央) 火山浩一郎(前列右)



基調講演/サイエンスホール



基調講演 講演者: 富田 勲氏



技術発表/サイエンスホール



ワークショップ/6号館



ワークショップ/11号館



プロダクトセミナー/1号館



機器展示/8・9号館



学生・若手エンジニアのためのサウンドアワード受賞者



バンケット
挨拶: Garry Margolis (AES前会長)



バンケット/ザ・スペース

AES東京コンベンション2003事務局

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-5-10

久我ビル2F (株)ステージ・サイド内

Tel: 03-5275-8373 Fax: 03-5275-8272

<http://www.aes-japan.org> convention@aes-japan.org